

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	岩手県立大学宮古短期大学部
設置者名	公立大学法人岩手県立大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部等 共通 科目	専門 科目	合計		
宮古短期大学部	経営情報学科				30	30	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/living/gslife/study/syllabus.html

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岩手県立大学宮古短期大学部
設置者名	公立大学法人岩手県立大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/information/staff.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	大学共同利用機関法人役員	2023.4.1～ 2027.3.31	大学運営・教育研究
非常勤	株式会社常勤監査役	2023.4.1～ 2027.3.31	大学運営（県民意識・社会情勢・男女共同参画）
非常勤	商工会議所役員	2024.4.1～ 2028.3.31	大学運営（県内経済状況）
（備考）			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岩手県立大学宮古短期大学部
設置者名	公立大学法人岩手県立大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) シラバス作成要領を定めており、シラバス作成要領に基づき、開講される授業科目ごとに、授業担当教員がシラバスを作成している。シラバス作成要領とは、シラバスの構成、作成手順、作業内容及びスケジュール、シラバスの各項目の記載方法等を定めたものである。 授業担当教員がシラバスを作成した後は、学部等教務委員会がシラバスの内容確認を行っている。 シラバスは授業開講の前年度の1月から作成し、3月下旬頃に公開している。	
授業計画書の公表方法	大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/living/gslife/study/syllabus.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 授業科目ごとのシラバスに下記事項を記載している。シラバスに、学修目標、成績評価の方法を明記しており、これに基づき各授業科目の単位授与を行っている。 ①講義科目名称、②英文科目名称、③開講期間、④配当年、⑤単位数、⑥科目必選区分、⑦担当教員、⑧所属、⑨正課学生以外の受講、⑩教育課程、⑪授業形態、⑫資格対応、⑬授業のねらい・概要、⑭キーワード《5 つまで》、⑮学修目標、⑯授業の位置付け、⑰授業の計画、⑱教科書【学生が必ず準備するもの】、⑲参考書等、⑳授業の形式、㉑成績評価の方法、㉒授業前・授業後の学修、㉓履修にあたっての留意点、㉔実務経験を生かした授業内容、㉕備考 試験・単位認定・成績評価に関するホームページアドレス https://www.iwate-pu.ac.jp/living/gslife/study/test.html	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) GPA制度を導入しており、「岩手県立大学グレードポイントアベレージ制度運用規程」において、GPの付与、GPAの種類及び計算式、GPA対象科目、GPAの通知について定めている。 GPAの算出方法は下記のとおりである。 ① 当該学期における学修の状況及び成果を示す指標としてのGPA (学期GPA) (当該学期に評価を受けたGPA対象科目で得たGP×当該科目の単位数)の合計 当該学期に評価を受けたGPA対象科目の単位数の合計	

② 在学中における全期間の学修の状況及び成果を示す指標としてのG P A (通算G P A) <u>(在学中に評価を受けた全G P A対象科目で得たG P ×当該科目の単位数) の合計</u> 在学中に評価を受けた全G P A対象科目の単位数の合計 上記算出方法により、各学期の成績評価に基づきG P Aを算出しており、学生は、各学期の成績通知日以降に、学内情報システムにおいて自分自身の学期G P Aと通算G P Aを確認することが可能である。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/living/gslife/study/test.html
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ▼目指す人材像 岩手県立大学宮古短期大学部では、幅広い教養と深い専門知識を有し、地域社会及び国際社会の発展に寄与できる人材を育成します。地域と連携した教育を通して、実社会に有用な知識と確かな専門技術を修得し、職業人としての自信と豊かな教養、情報の取捨選択と活用ができ、広い視野に立つ国際性と地域のリーダーとしての資質を培い、社会に貢献する人材を輩出することを目指します。 そして、本学学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学し、かつ、単位を修得した学生を、次に掲げる「卒業までに身につけるべき能力」を備えたものとして、学位「短期大学士（経営情報学）」を授与します。 ▼学生が卒業までに身につけるべき能力 DP1： 幅広い教養とグローバルな視野を身につけている。(幅広い教養) DP2： 自らの考えを相手にわかりやすく伝え、他者の意見を尊重し、理解することができる。(コミュニケーション能力) DP3： 経営と情報に関連する知識を理解し、他者と協力しながら社会の中で主体的に行動できる。(社会への関心) DP4： 企業活動や情報技術に関する知識を修得し、情報技術を企業活動に利活用する専門知識や技能を身につけ、社会に貢献できる。(専門知識) DP5： 社会や企業活動の仕組みを理解し、課題解決のための能力を身につけ、地域社会及び国際社会に貢献できる。(課題発見・問題解決能力)	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/information/edu-information/dc-policy-top.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	岩手県立大学宮古短期大学部
設置者名	公立大学法人岩手県立大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/information/zaimu.html
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	-
事業報告書	大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/information/zaimu.html
監事による監査報告(書)	同上

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 対象年度:)
公表方法:
中長期計画(名称: 第四期中期計画 対象年度: 令和5年度～令和10年度)
公表方法: 大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/information/info/evaluation.html

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/information/selfstudyreport.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/information/info/accreditation.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 宮古短期大学部
教育研究上の目的 (公表方法：大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/information/edu-information/purpose.html)
(概要) 【経営情報学科】 経営・会計学及び情報科学を総合的に教育することにより、実社会に有用な知識と確かな専門技術、職業人としての自信と豊かな教養及び情報の取捨選択能力と活用能力を身につけさせるとともに、広い視野に立つ国際性や地域のリーダーとしての資質を培い、社会に貢献する有能な人材を育成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法：大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/information/edu-information/dc-policy-top.html)
(概要) ▼目指す人材像 岩手県立大学宮古短期大学部では、幅広い教養と深い専門知識を有し、地域社会及び国際社会の発展に寄与できる人材を育成します。地域と連携した教育を通して、実社会に有用な知識と確かな専門技術を修得し、職業人としての自信と豊かな教養、情報の取捨選択と活用ができ、広い視野に立つ国際性と地域のリーダーとしての資質を培い、社会に貢献する人材を輩出することを目指します。 そして、本学学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学し、かつ、単位を修得した学生を、次に掲げる「卒業までに身につけるべき能力」を備えたものとして、学位「短期大学士（経営情報学）」を授与します。 ▼学生が卒業までに身につけるべき能力 DP1： 幅広い教養とグローバルな視野を身につけている。（幅広い教養） DP2： 自らの考えを相手にわかりやすく伝え、他者の意見を尊重し、理解することができる。（コミュニケーション能力） DP3： 経営と情報に関連する知識を理解し、他者と協力しながら社会の中で主体的に行動できる。（社会への関心） DP4： 企業活動や情報技術に関する知識を修得し、情報技術を企業活動に利活用する専門知識や技能を身につけ、社会に貢献できる。（専門知識） DP5： 社会や企業活動の仕組みを理解し、課題解決のための能力を身につけ、地域社会及び国際社会に貢献できる。（課題発見・問題解決能力）
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/information/edu-information/dc-policy-top.html)
(概要) ▼宮古短期大学部の教育内容及び教育方法 岩手県立大学宮古短期大学部では、卒業認定・学位授与の方針に掲げた能力の育成のため、基盤教育科目と専門教育科目を中心としたカリキュラムを編成・実施し、学生が主体的・能動的に学ぶことができるよう、講義、演習等を適切に組み合わせた授業を開講します。 特に専門教育科目では、経営情報学を形成する共通の知識を修得したうえで、多彩な専

門科目を体系的に学習するため経営科目群、経営情報科目群、情報科学科目群に編成します。

CP1：豊かな教養を身につけるため「地域総合科目」及び「基盤教育科目」を開講します。（DP1、DP2）

CP2：グローバル化時代の社会あるいは企業に求められる英語の重要性から「英語科目」を開講します。（DP1、DP2）

CP3：本学での学習活動において不可欠な知識・技能を育成するために、「専門基礎科目」を開講します。（DP3）

CP4：企業経営を理解して企業や社会の課題を解決するために、「専門教育科目」として「経営科目群」を開講します。（DP3、DP4）

CP5：情報通信技術を企業活動に活用し企業の情報化を促進するために、「専門教育科目」として「経営情報科目群」を開講します。（DP3、DP4）

CP6：コンピュータの仕組みを理解して、プログラムやシステムの開発に関わるために、「専門教育科目」として「情報科学科目群」を開講します。（DP3、DP4）

CP7：高度な知識や技術を培い講義科目から修得した内容の専門性をより高め社会生活や企業活動に応用できるよう「ゼミ科目」を開講します。（DP2、DP5）

CP8：自己についての理解を深め、進路選択能力と社会人としての基礎力を育成するため「キャリア形成科目」を開講します。（DP3）

入学者の受入れに関する方針

（公表方法：大学 Web サイト

https://www-myk.iwate-pu.ac.jp/examination/admission_policy.html）

（概要）

【求める学生像】

宮古短期大学部では、本学部のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）およびカリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）に定める教育を受けるに当たって、次に示すような知識・技能や能力、目的意識・意欲を備える人を求めます。

- ・岩手県立大学宮古短期大学部の「建学の理念」と「大学の基本的方向」に共感する人
- ・総合的な基礎学力と学習意欲を有する人
- ・企業のあり方、会計の仕組み、情報技術の活用など専門領域への高い関心を有する人
- ・大学生活を送る上で必要な社会性を有する人
- ・多様な人々と協働しながら、知識・技能を活用して主体的に学び続ける意欲がある人
- ・自己成長と社会貢献を目指す人

○建学の理念

「自然」、「科学」、「人間」が調和した新たな時代を創造することを願い、人間性豊かな社会の形成に寄与する、深い知性と豊かな感性を備え、高度な専門性を身につけた自律的な人間を育成する大学を目指します。

○大学の基本的方向

- ・豊かな教養の修得と人間尊重の精神の涵養
- ・学際的領域を重視した特色ある教育・研究
- ・実学・実践重視の教育・研究
- ・地域社会への貢献
- ・国際社会への貢献

【選抜の基本方針】

入学者選抜においては、入学志願者の個性や資質、意欲等種々の潜在能力に配慮し多様な選考方法を採用するとともに、学力検査においては、暗記型の知識を問うのではなく、思考力・判断力・表現力を評価する試験を目指します。入学者選抜の各試験種別において重視する評価項目等は次のとおりです。

【一般選抜試験・一般選抜A】

大学入学共通テストと小論文、調査書で構成されている試験です。大学入学共通テストでは経営情報学科で学ぶにあたっての基礎的学力を、小論文では思考力・判断力・表現力を、そして調査書では高等学校等での成績や学校生活・活動を、それぞれ評価します。

【一般選抜試験・一般選抜B】

調査書と小論文、そして活動調書・志望理由書とそれに基づく面接で構成されている試験です。調査書では高等学校等での成績やさまざまな活動を、小論文では思考力・判断力・表現力を評価します。また面接では活動調書と志望理由書をもとに、経営情報学科で学ぶ上で特段に優れた能力・活動や学習意欲を評価します。

【学校推薦型選抜】

小論文と面接で構成され、各高等学校等から学習成績の状況を主として推薦された志願者を対象に行われる試験です。調査書・推薦書では、高等学校等での成績や学校生活・活動を評価します。小論文では思考力・判断力・表現力を評価します。面接では目的意識・学習意欲・自己表現力・人柄等を総合的に評価します。

【社会人選抜】

満 21 歳以上の高等学校等既卒者を対象に、書類審査、面接、小論文で行われる試験です。書類審査と面接では社会人としての経験に基づく目的意識や自己表現能力を評価し、小論文では思考力・判断力・表現力を評価します。

【外国人留学生選抜】

日本への外国人留学生を対象に、書類審査、面接、小論文で行われる試験です。書類審査では日本語の能力と学業成績について評価します。面接では、目的意識・学習意欲・自己表現力等を総合的に、小論文では思考力・判断力・表現力を評価しますが、いずれも本学での学習・生活に必要な最低限度の日本語能力が前提となります。

詳細は上記 URL 参照。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.iwate-pu.ac.jp/information/staff.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・ 副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	0 人	－					0 人
宮古短期大学部	－	4 人	7 人	3 人	0 人	0 人	14 人
合計	0 人	4 人	7 人	3 人	0 人	0 人	14 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
3 人		6 人					9 人
各教員の有する学位及び業績		公表方法：大学 Web サイト					

(教員データベース等)	http://souran.iwate-pu.ac.jp/search?m=home&l=ja
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）	
年2回程度の全学的なセミナー及び学部ごとの研修会等の開催、他大学等が実施する研修会等への参加に関する支援、授業に関する学生アンケート調査を行っている。	

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経営情報学科	100 人	126 人	126%	200 人	215 人	107.5%	人	人
合計	100 人	126 人	126%	200 人	215 人	107.5%	人	人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経営情報学科	67 人 (100%)	23 人 (34.3%)	40 人 (59.7%)	4 人 (6.0%)
合計	67 人 (100%)	23 人 (34.3%)	40 人 (59.7%)	4 人 (6.0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
大学 Web サイト (https://www.iwate-pu.ac.jp/career/syusyokusaki.html) に掲載。				
(備考)				
大学 Web サイトに掲載している卒業者数等の数値は次のとおりであり、本申請書とは一致しない。				
・卒業者数及び就職者数は、令和8年3月卒業生の数で、秋卒業者は含まない。				
・進学者数は、専門学校進学者を含む。				
・その他の数には、就職未内定者及び専門学校進学者を含まない。				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
経営情報学科	68 人 (100%)	66 人 (97.1%)	1 人 (1.5%)	1 人 (1.5%)	0 人 (0.0%)
合計	68 人 (100%)	66 人 (97.1%)	1 人 (1.5%)	1 人 (1.5%)	0 人 (0.0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
シラバス作成要領を定めており、シラバス作成要領に基づき、開講される授業科目ごとに、授業担当教員がシラバスを作成している。シラバス作成要領とは、シラバスの構成、作成手順、作業内容及びスケジュール、シラバスの各項目の記載方法等を定めたものである。
授業担当教員がシラバスを作成した後は、学部等教務委員会がシラバスの内容確認を行っている。シラバスは授業開講の前年度の1月から作成し、3月下旬頃に公開している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
授業科目ごとのシラバスに下記事項を記載している。シラバスに、学修目標、成績評価の方法を明記しており、これに基づき各授業科目の単位授与を行っている。
①講義科目名称、②英文科目名称、③開講期間、④配当年、⑤単位数、⑥科目必選区分、⑦担当教員、⑧所属、⑨正課学生以外の受講、⑩教育課程、⑪授業形態、⑫資格対応、⑬授業のねらい・概要、⑭キーワード《5 つまで》、⑮学修目標、⑯授業の位置付け、⑰授業の計画、⑱教科書【学生が必ず準備するもの】、⑲参考書等、⑳授業の形式、㉑成績評価の方法、㉒授業前・授業後の学修、㉓履修にあたっての留意点、㉔実務経験を生かした授業内容、㉕備考試験・単位認定・成績評価に関するホームページアドレス
https://www.iwate-pu.ac.jp/living/gslife/study/test.html

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
宮古短期大学部	経営情報学科	62 単位	有・無	欄外に記載。
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/information/info/questionnaire.html		

※ 学部が定める一部の科目をのぞき、原則 20 単位。ただし、1 年前期または後期の通算 GPA が 2.60 以上の場合、次の学期は 30 単位まで登録可能。なお、2 年次後期は上限を設けない。

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/information/edu-information/facilities.html
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
宮古短期大学部	経営情報学科	390,000 円	(県内の住民) 135,400 円 (その他の住民) 203,000 円	2,430 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) (1) 経済的支援 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業成績が優秀と認められる学生に対し、申請に基づき授業料の免除を実施するほか、納付方法の特例（分割・延納）も実施している。 また、本学独自の奨学金制度（岩手県立大学学業奨励金）を設け、学業成績が優秀な学生に対し無利子の奨学金を貸与している。卒業時に学業成績が特に優秀な場合や岩手県内に主たる事業所を置く企業等に所定年数勤務する等の条件を満たした場合は、申請に基づき返還を免除（全部又は一部）することがある。 (2) 特別支援による合理的配慮 学生サポートサロンに配置する学生支援コーディネーターを中心に、障がい・疾患等を抱える学生に対し修学や学内生活に関する相談対応を行う他、所属学部や教員等への配慮依頼及び環境調整等のサポートを行っている。 (3) 修学状況の保証人通知制度 学生への修学指導の充実を目的として、事務局と学部が連携し、履修未登録・欠席過多等の学生に対する「修学状況に係る保証人通知」制度を設けている。 また、全学生の保証人に対し、学期ごとに成績通知書を送付している。 (4) ソーシャルワーカーによる相談 経済不安等の生活課題を抱える学生を対象に、社会福祉士の資格を持つ学生支援コーディネーターが相談に応じる。また、学外ソーシャルワーカーの相談窓口も設置している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) (1) 就職支援 全学の就職支援を行う「キャリアセンター」と学部特性に合わせて支援を行う「就職・編入委員会」等が連携しながら、就職ガイダンス、企業説明会、公務員試験対策、個別相談等を実施している。 (2) キャリア形成支援 低学年次からのキャリア意識の醸成を目的として、業界研究セミナーや各種ガイダンス等の開催、インターンシップへの参加推奨等を行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) (1) 健康管理（保健室） 学生の心身にわたる健康管理を目的に、保健師を配置している。 (2) 学生相談（学生なんでも相談室） 臨床心理士の資格を有する相談員を配置して悩みや不安を抱える等の学生の相談に応じている。 (3) 障がい学生支援・生活に関する困りごと相談（学生サポートサロン） 障がいや疾患を抱える学生に対する合理的配慮の提供、及び修学や生活に関する困りごとを抱える学生の支援を目的に、学生支援コーディネーターを配置している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学 Web サイト https://www.iwate-pu.ac.jp/

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。